



活発なやり取りは1時間半に渡って行われました。

学校や家では出来ない体験を こどもミュージアム冬休み 2019

子どもたちの感じ、考え、作り、伝える力を培うことを目的とするこどもミュージアムが、12月25日(水)、26日(木)に開催されました。初日は、好きなことを好きなだけできるアソビとマナビの熱中空間 KID's ラボを実施。車をルート通りに走らせるプログラミング、廃材を使って好きなものを作る廃材アート、絵コンテ作成や撮影・編集をして15秒程度のCMを作成する映像制作の3つから、好きなことに取り組みました。夢中になってやりきったあとは、誇らしげに成果を発表していました。



残りの講座からも参加できます。問い合わせは市観光物産協会へ。

ちょっと顔を出してみませんか カフェまるき「輝」でぜんざいの振る舞い

カフェまるき「輝」は、地域住民が気軽に立ち寄り交流を深める場として、押野丸木会館で開かれているコミュニティカフェです。1月8日(水)に今年最初の会があり24人が参加しました。この日はマジックショーとぜんざいの振る舞いがあり、不思議いっぱいのマジックとぜんざいの優しい甘さで笑顔の溢れる楽しい時間となりました。運営を行っている森川さんは「季節に合わせた催しを企画していくので、今年も皆さんに楽しんで参加してもらいたい」と話してくれました。

女性が活躍するまちづくり

新春 市長と語ろう

1月8日(水)、情報交流館カメラで野々市市女性協議会が市長を囲んで意見交換会を行いました。新春に合わせて毎年開かれるこの会は、女性のさらなる市政参加や市民協働意識の向上を目的としています。栗市長は「女性にはポテンシャルを感じる。女性に限らず、市民の能力を引き出す活躍の場を整えていきたい」とあいさつしました。時折笑い声が聞かれる和やかな雰囲気の中で、子育て支援や子どもの安全など、女性ならではの目線から話し合いがもたれました。



センサーの数値を調べ、車がうまく走るようにプログラミング！

野々市を知って、自分の言葉で伝える

ののいち里まち倶楽部ガイド養成講座

野々市の魅力を発信するボランティア団体、ののいち里まち倶楽部のガイド養成講座が1月10日(金)に行われ、「市のことを知って人に紹介したい」などの思いのもった約30人が参加しました。7回シリーズの2回目であるこの日は「縄文時代から古代までの野々市」について学習。講師が御経塚遺跡や古代北陸道について解説すると、参加者はかつての野々市の姿に思いを馳せている様子でした。今後、歴史の他、ツバキや観光などさまざまな分野から市について学ぶ予定です。



参加者に大好評だったぜんざい。餅は炭火で焼きたてです。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

春はもうすぐ
花と緑ののいち
椿まつり 2020
3月21日(土)・22日(日)



咲き誇る気高い冬の花

ののいち椿館でツバキが続々開花中

野々市中央公園内にある、「愛と和 花のギャラリー ののいち椿館」と「椿山」ではたくさんのツバキが開花を迎えています。1月末時点で、開花時期が終わったものは2割程度、開花中のものが3割程度あります。

今年は暖冬傾向のためこのままいくと時期が早くなるかもしれませんが、ツバキの見ごろはまさにこれから。色や花の形などさまざまな表情を見せてくれるツバキをぜひ椿館で楽しみてはいかがでしょうか。

①市の名前が付いた「野々市」。淡いピンク色が可憐です
②一見バラのようにも見える華やかなワルツ・タイム・シュープリーム③今に開花を迎える小さな蕾がたくさん

■2月初めに椿館で開花予定のツバキの例

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・石川県で生まれた黄色のツバキ | 初黄、黄の旋律、黄調 |
| ・九州で生まれた名花 | 玉之浦、正義 |
| ・日本生まれの華やかなツバキ | 玉露、光源氏、乙女椿 |
| ・豪華で華やかな外国のツバキ | シルクロード、プロミセス |



黄の旋律 (きのせんりつ) 玉之浦 (たまのうら)

お金はどこからやってくる？

親子で学ぼう日本のお金

学びの杜ののいち カレードで12月26日(木)、造幣局と北陸財務局による親子教室が午前と午後の2回開催されました。いずれの回も、冬休みに入った小学生親子ら約40人が参加し、造幣局のキャラクター“キラキラコインズ”が登場するビデオ上映やクイズを交えたミニ講座などを楽しみました。保護者向けに「子育て世代のマネー講座」も開かれ、今後必要な教育資金の話に皆興味津々に耳を傾けていました。財務局の担当者は「興味のきっかけになれば」と話していました。



偽造防止の工夫がたくさんあるよ。見つけられたかな。

聞いてほしい私たちの思い

野々市市少年弁論大会

文化会館フォルテで1月19日(日)、野々市ロータリークラブ創立40周年を記念した「野々市市少年弁論大会」が開催され、市内在学・在住の中学生15人が日常生活での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、さやかに主張しました。最優秀賞は『輝き続ける故郷であるために』と題して発表した金沢錦丘中の芳坂美貴さんで、聴衆に訴えるはつらつさが印象的でした。大久保教育長は「皆のしっかりした主張に感激した。今日の経験を糧に未来を歩んでほしい」と講評しました。



手振りを交えた堂々とした主張に惹き込まれます。